※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3010D

令和４年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	１～３年次
使用教科書	新編　生物基礎　（啓林館）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地球には様々な生物が存在し、その生命の営みは非常に巧妙で、地球上に初めて生物が誕生して以来現在まで脈々と引き継がれています。そのような不思議な生物に関心を高め、生物学の基本的な概念や原理・法則を学習します。

２　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象への関心を高め、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自然の事物･現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物･現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	各単元で扱われているグラフや表のデータを正確に読み取り・解析し、これを活用できる能力が習得できている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・授業態度 ・ノート等	・定期考査 ・ワークシート	・ワークシート	・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	生物の特徴と遺伝子	生物の共通性 細胞とエネルギー 遺伝情報とＤＮＡ 遺伝情報の分配 遺伝情報とタンパク質の合成	○	○	○	○	a:生物の多様性と共通性に関心を持ち、探究しようとする。 b:細胞分裂で、遺伝情報の同一性が保たれていることを理解している。 c:遺伝子に関する探究活動を通して、記録・整理ができる。 d:エネルギー代謝と、タンパク質合成の仕組を理解している。	授業態度 ノートおよびワークシートの記述 定期考査
二学期	生物の丹藍環境の維持	体内環境と恒常性 体内環境の維持の仕組 免疫	○	○	○	○	a:体内環境について関心をもち、意欲的に探究しようとする。 b: 体内環境を保つ仕組を考察できる。 c:免疫に関する探究活動を通して記録・整理ができる。 d:自律神経やホルモンに関する知識を身に付け、その重要性を理解している。	授業態度 ノートおよびワークシートの記述 定期考査
三学期	生物の多様性と生態系	植生と多様性の分布 生態系とその保全	○	○	○	○	a:気候とバイオーム、生態系のバランスについて関心をもち、意欲的に探究しようとする。 b:生物の多様性と生態系について考察できる。 c:環境と生態系について資料収集などを行い、記録・整理ができる。 d:気候とバイオームについての知識を身につけ、生態系の保全の重要性を理解している。	授業態度 ノートおよびワークシートの記述 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。